

社協だより

ONAGAWA

第17回女川町社会福祉推進大会



令和4年11月30日、まちなか交流館ホールを会場に「第17回女川町社会福祉推進大会」を開催しました。

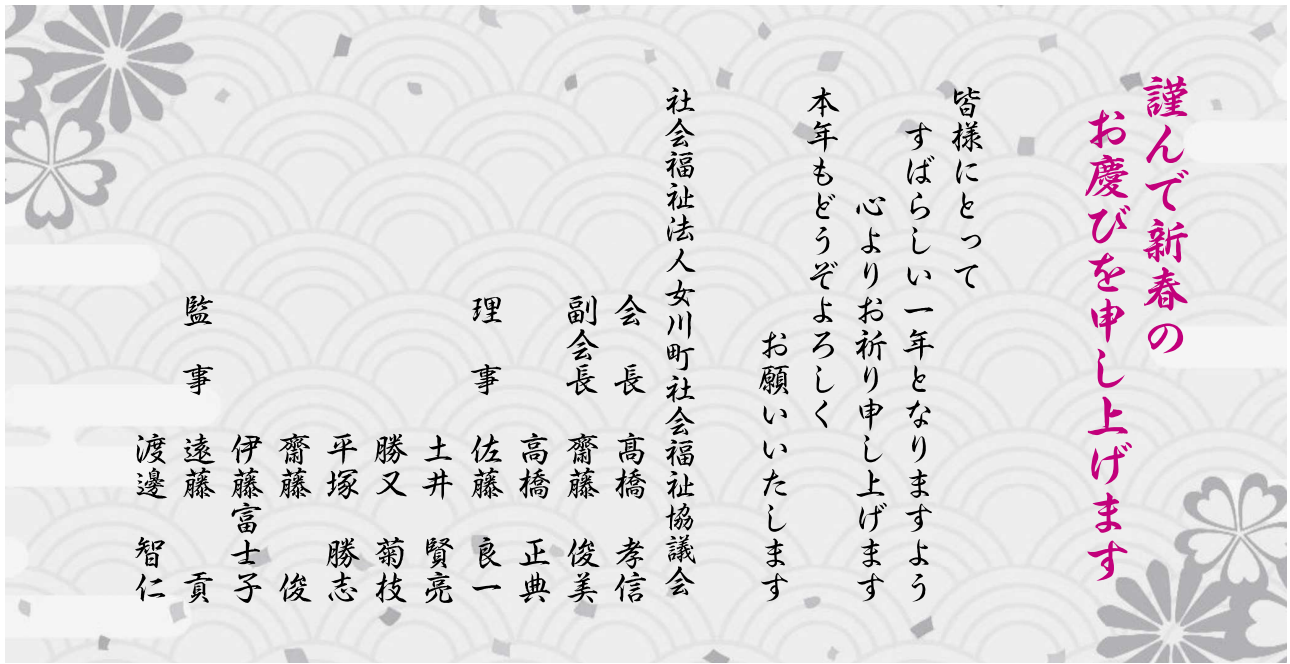
2年に一度開催される本大会では、永年にわたり本町の地域福祉の推進に貢献のあった総計66名（団体・企業）の方々へそれぞれ表彰・感謝状の贈呈を行いました。

様々な特色を見せながら地域づくりが行われてきた本町において、多くの方々が変わり合いながら地域が育まれてきたものと、改めて受賞された方々の姿を拝見し実感した瞬間でもありました。

昨今のコロナ禍において、対面で会うことに理由が必要な時代になりつつあるなかでも、敢えて「人と会う」ことに意義を持ちながら、今後も、役職員一丸となって住民主体の地域づくりを進めて参りたいと思います。

この広報誌の発行には、皆さまから頂戴した会費と共同募金からの配分金を使わせていただいております。

2
FEBRUARY.2023



永年の功績を称えて

～ 受賞者の皆様、誠におめでとうございます～

先の「第17回女川町社会福祉推進大会」で、永年にわたり、本町の地域福祉の推進に御尽力いただいた皆様へ、表彰状・感謝状を贈呈させていただきましたので、御紹介させていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しての開催となりましたが、「全国社会福祉大会」において、福祉団体より受賞された皆様も併せて、御紹介させていただきます。

(敬称略)

表 彰 状			
区 分	受 賞 者	区 分	受 賞 者
支 部 長	鈴 木 文 夫	民生(児童)委員	木 村 登志子
	石 森 孝 之		平 塚 京 子
	鈴 木 浩		末 永 たか子
社会福祉団体の 役員等	武 内 武 司		八 巻 英 成
	木 村 かのえ		木 村 廣 靖
	木 村 廣 靖		阿 部 義 一
	木 村 敬 子	阿 部 淑 子	
	阿 部 光 記	鈴 木 浩	
	阿 部 真由美	阿 部 求	
	千 葉 英 貴	木 村 佳代子	
	高 橋 良 子	石 森 洋 一	
	木 村 文 恵	渡 邊 智 仁	
	阿 部 憲 一	遠 藤 和 剛	
民生(児童)委員	樋 口 和 枝	社会福祉事業への 貢献	梶 原 悦 子
	土 井 基		齋 藤 和 子
	高 橋 良 子		阿 部 すが子
	梁 取 礼 子		阿 部 律 子

表彰状			
区分	受賞者	区分	受賞者
特別会員として 10年以上にわたり 本会の運営に 貢献した者及び 団体等	幸勝水産株式会社	特別会員として 10年以上にわたり 本会の運営に 貢献した者及び 団体等	株式会社赤間商会
	大一電気システム株式会社		株式会社御前屋
	有限会社女川レンタカー		株式会社黄金タクシー
	有限会社針の浜屋酒店		株式会社サワダヤ
	三宅哲也		金華楼
	株式会社岡崎電気		鈴幸漁業株式会社
	まるご鈴木興業株式会社		フラワーショップさとう
女川魚市場買受人協同組合	有限会社聖花園		

感謝状			
区分	受賞者	区分	受賞者
社会福祉事業 寄付者	大沢安住実業団	賛助会員として 10年以上にわたり 本会の運営に 貢献した者及び 団体等	株式会社女川観光ホテル
	佐藤佳樹		阿部信雄
	株式会社海洋建設		石巻信用金庫女川支店
	国際ソロプチミスト		岡八百屋
	石巻サン・ファン		株式会社七十七銀行女川支店
	佐藤文雄		株式会社仙台銀行女川支店
	株式会社ブリッジ		丹野つぎ子
四日市メリノール学院	株式会社女川魚市場		
		有限会社本のさかい	



全国社会福祉大会受賞者

厚生労働大臣表彰

共同募金運動奉仕者 齋藤俊美

中央共同募金会会長表彰

奉仕功労者 石森昌義

生活支援コーディネーターの

「いいものみ〜つけ！」 NO.23

生活支援体制整備事業「第2層協議体」を開催!!

「福祉活動推進員研修」を開催しました!!

テーマ：「知って得する!!地域の集いの場で活用できること!!」

令和4年6月1日に第1回研修を開催し、町や社協の出前講座、ニュースポーツの紹介、地域包括支援センターの介護予防事業など、集う機会をつくるきっかけづくりとして情報提供・共有する研修を行いました。



その際に、参加した皆さんから



お話は聞いてわかりました。
一度体験もしてみたい。

という声が多く聞かれました。

研修終了後に参加した皆さんから、「実際に体験してみたい!」という多くのお声をいただきました。そこで、第2回の第2層協議体では、テーマを「ニュースポーツの体験会」とすることにしました。そして、12月9日、第2回となる地域の担い手・福祉活動推進員研修では、女川町総合体育館大体育室を会場にニュースポーツ体験会を開催!!

今回は福祉活動推進員の皆さんだけでなく、地域の集いの場でもいつもお世話役となっている方々へもお知らせをし、当日は50名の参加がありました。

体験したニュースポーツは、スカットボール・カローリング・オーバーボール・モルックの4種類で、それぞれのルールを確認し、体験していただきました。



体験会終了後には、さっそく数地区から「自分の地区でも行いたい」との依頼がありました。

皆さん、「集う機会が大事」というのはわかっているけどコロナの感染拡大もあり、なかなかお茶会など集まれないことも多いのが現状です。しかし、ニュースポーツであれば、『高齢者でも簡単にできるスポーツなのでとても良い。ぜひ体験させたいです。』という話をたくさん聞くことが出来ました。

皆さん、ご参加いただきありがとうございました。

社協出前講座 地域防災教室から 小学4年生防災学習へ

11月22日、女川小学校4年生を対象として、普段地域で行っている「防災教室～簡単防災グッズづくり～」を小学生向けにテーマを二つ作り、子供たちと一緒に取り組みました。

今回の防災学習は、女川町協働教育プラットフォーム事業の一環として行われており、生活支援コーディネーターが講師となり、いざというときの災害に備え、防災について考え身近なものを使って簡単防災グッズを作ることを通して、防災について学ぶことを目的として行いました。

テーマ1 防災について考える

「こんな時 キミならどうする、どう動く？ 自分の(家の)非常用持ち出し袋を考えてみよう」

最初のテーマでは、万が一、災害が発生し避難する際に持ち出す非常用持ち出し袋には何が必要であるのかを、ワークシートを使い考えました。

発表の際には、避難した際などに必要となる食糧や電池、ラジオなどのほか、現在のコロナ禍も見据えて、体温計や消毒液など、様々な意見がありました。

防災学習ワークシート(2)

○自分用の非常用持ち出し袋を作ってみよう!!
災害の「備え」に大切なものは何か？

※自分が避難する時に持ち出すものを考えてみよう



テーマ2 身近なもので簡単防災グッズをつくる

新聞紙でつくるスリッパ



テーマ2の簡単防災グッズづくりでは、新聞紙でつくるスリッパのほか、ごみ袋を使ったカップづくりやツナの缶詰を使ったランプづくりなど、身近にあるものを活用して防災グッズづくりに挑戦しました。

スリッパは、1枚で作るものと2枚重ねて作るものの履き心地も体験しながら、実際にどのように使われるのかなど、学びを深めました。

ツナ缶で簡単ランプ



ゴミ袋でカップ





うみねこ園だより



クリスマスを楽しんで

利用者さんたちにとって楽しいイベントの1つでもあるクリスマス。コロナ禍のためイオンスーパーセンター石巻東店のスタッフのみなさんの参加は今年も叶わずでしたが、今回も助六弁当にオードブル、ケーキと飲み物、さらにはクリスマスプレゼントまで届けてくださいました。



毎年のご支援に感謝して、うみねこ園からはみんなで作ったクリスマスカードをプレゼントさせていただきました。

クリスマス会では、おいしい料理を囲みながらビンゴ大会、ダンスタイムなどで大盛り上がりでした。

さて、このクリスマス会をはじめとしたクリスマスシーズンを今回も盛り上げてくれたのが、実物のモミの木を使ったクリスマスツリー。ツリーにはご寄付いただいたイルミネーションが加わったうえ、壁面にもイルミネーションを施すなど、もはやうみねこ園とは思えぬ幻想的な空間が広がりました。この設置には、いつもお世話になっている女川町花卉同好会のみなさんのほか、新たに報武工務店さんにもご協力をいただき、より豪華に！クリスマスムードが高まる空間に目を輝かせていた利用者さんたちでした。



また、いつもお世話になっているボランティアさんにも例年のようにクリスマスプレゼントをいただくなど、今年もたくさんの方にお世話になったクリスマス。利用者さんもあたたかな気持ちで年末を過ごすことができたのではないのでしょうか。

お世話になったみなさん、ありがとうございます。

外の空気をめいっぱい感じながら

心地よい秋晴れのなか、女川原子力PRセンターで行われた「りんご狩り」につばくろ会の皆さんと一緒に参加させていただきました。



コロナ禍や悪天候の影響により、久しぶりの参加となった利用者さんでしたが、みなさんから以前と変わらぬ歓迎を受け、笑顔の利用者さんたち。はじまりの会を終えるとさっそく収穫の始まりです。りんご やだいこん さつまいも の収穫はもちろん、PRセンターのみなさんやつばくろ会のみなさんとコミュニケーションをとったりと、絶好の天気のもと、おおいに楽しんだようでした。

おわりの会では、PRセンターのみなさんにお礼を伝えて帰路へ。コロナ禍以降、少なくなっていた屋外での活動や地域の方との交流ができ、帰りの車中では疲れた様子がありながらも、充実した表情のみなさんでした。

女川原子力PRセンターのみなさん、つばくろ会のみなさん、ありがとうございました。

11がつのニューフェイス

うみねこ園に11月から新しい職員が加わりました。皆さんよろしくお願いします。



女川町地域活動支援センターうみねこ園

指導員 木村美雪

まだまだわからない事ばかりで、時に落ち込むこともありますが、利用者さんから元気を分けてもらい頑張っています。どうぞよろしくお願い致します。

～女川町ひとり親家庭福祉会からのお知らせ～

制服回収ポスト 活用してみませんか?!

女川町ひとり親家庭福祉会（以下、本会）では、昨年度より、『学生服リユースショップさくらや仙台店（以下、さくらや仙台店）』のご協力のもと、女川町地域福祉センター1階エントランスに制服回収ポストを設置しています。

この『制服回収ポスト』とは、ご家庭で着ることのなくなった制服を入れていただくためのボックスです。



もうすぐ卒業、
この制服どうしよう!

そういえば、自宅に眠って
いる制服があった!



ここで回収しています!

女川町地域福祉センター1階エントランス(女川町地域医療センター向かい)
なお、ご不明点などございましたら、下記までお問合せ下さい。ご協力よろしくお願いいたします。

但し、お受けできないものもあります!



- 投入可能なもの 宮城県内の幼稚園（町内保育所）から高校までの
卒業後5年以内の制服（ワイシャツ・ブラウス含む）及び体操着
- ×投入不可なもの ①かばん、靴、柔道や剣道着は不可 ②デザインの変った旧型のもの
③破損の大きいものやリメイクされたもの ④カビや虫食いのあるもの
⑤学校制服以外の市販の洋服など

回収された制服はどうなるの?

- 回収した制服は、**制服が必要な本町のひとり親家庭等へ無償提供いたします。**
ご希望の方は下記までお問合せください。なお、譲渡制服の事前クリーニングについては対応致し兼ねます。
- 本町のご家庭へ提供できない制服については、さくらや仙台店が回収し、査定した金額分を「**子供の未来応援基金**」へ寄付します。また、回収された制服などのうち、まだ使用できるものはリユース品として販売、またはバザーなどへ提供されます。状態が悪くなっている制服などは、学校名やネームを外し「**古着deワクチン**」に送られ活用される仕組みとなっています。**SDGsの一環**ともなりますので、是非ご協力ください。



『おすそわけ』からつながる ひとり親支援

本会では、事業の一環として『認定NPO法人おてらおやつクラブ（以下、おてらおやつクラブ）』のご支援をいただき、ひとり親家庭へ食糧支援を行っています。

これから年度末に差し掛かり、**お子様の進級・進学が非常に嬉しい一方、何かと出費が多くなる時期だ**と思います。皆さんも、仏さまからの『おすそわけ』をご活用ください!

【おてらおやつクラブの支援ご利用条件】

- ①ひとり親家庭
 - ②18歳未満の子とも同居している世帯
 - ③経済的に困りの状況にある世帯
- 以上、3つの条件すべてに該当するご家庭の方が申込可能です。

左記に該当される方は、おてらおやつクラブへのLINE登録及び質問回答による個人登録を済ませることにより、直接ご自宅へ郵送にてお菓子や食品、日用品などの支援を受けることが可能です。

LINE登録方法や申し込みについては、以下のおてらおやつクラブホームページに掲載されています。

<https://otera-oyatu.club/parents/>



【本ページに関する問合せ先】女川町ひとり親家庭福祉会（社会福祉協議会内）担当：酒井・須田
TEL：0225-53-4333 mail：tsubakiya4@shakyo-onagawa.or.jp

皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様から頂く寄附金は、広報紙の発行や
小中学校で行う福祉学習、ボランティア
センター事業や生活困窮者への支援などに
充当させていただいております。

今後とも、皆様のご理解をよろしく願
いします。

寄附金〔11月1日～12月31日受付分〕 (敬称略)

行政区	氏名	金額
石巻市	遠藤 初子	100,000円
上三	佐藤 佳樹	20,000円

よりよい地域をつくるために

誰もが、生活者として暮らす地域がこうあって
欲しい！もっとこんな地域にしたい！という思いは
あることでしょう。

皆様が地域住民として、それぞれ役割を持ちながら
よりよい地域をつくりあげていくために、皆様から
いただく会費を活用させていただいています。

特別会員〔11月1日～12月31日受付分〕 (敬称略)

行政区	氏名
塚浜	鹿島建設株式会社

温かいご支援をいただきました

女川ライオンズクラブの伊藤会長・
加藤前会長が来所され、生活困窮者
支援に役立てていただきたいとい
うことで、**レトルトご飯134食・
袋ラーメン360食**をご寄附いただき
ました。
有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



～シニアのための学び場～

宮城いきいき学園 令和5年4月入学生募集

宮城いきいき学園は、シニアカレッジとして高齢者の学習ニーズに応えるための
学習の学び場を提供し、**生きがいきりと健康づくりを推進**するとともに、地域
社会の発展に寄与できる高齢者の**地域リーダーとなる人材の育成と地域貢献活動**
への参加を目的としています。

学習を通して仲間とふれあい、明るく楽しい充実した学園生活を是非ご体験ください。

- ・ **応募対象**：宮城県内に在住する60歳以上の方で、健康で学習意欲があり、**2年間継続して受講可能な方**。
ただし、卒業された方の再入学はできません。
- ・ **場 所**：宮城県いきいき学園石巻校 東松島市コミュニティセンター（東松島市矢本字大溜1-1）
ほか、仙南校、大崎校、気仙沼・本吉校、登米・栗原校あり。（通学可能であれば可）
- ・ **募集人数**：各校30人程度 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策上、募集定員を減ずる場合あり。
- ・ **学 習 日**：月1～2回（1回4時間）を原則として、年間21日（2学年制）
- ・ **内 容**：「健康で豊かな人生の創出」「地域貢献活動への参画」「特別活動」の3領域で構成し、
講義・演習・実技・体験を通して2年間で学習するよう編成しています。
- ・ **募集期間**：令和5年3月31日（金）まで 当日消印有効
- ・ **入 学 金**：5,000円
- ・ **受 講 料**：年間20,000円
- ・ 申込書については、宮城県社会福祉協議会ホームページ（<http://www.miyagi-sfk.net/>）または、
市町村の高齢者福祉担当課及び生涯学習担当課並びに市町村社会福祉協議会から入手できます。

【申込・問合せ先】宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課 電話：022-225-8477